

平成 21 年 12 月 9 日

各 位

札幌市北区北 9 条西 3 丁目 7 番地  
会 社 名 株式会社 土屋ホールディングス  
代 表 者 名 代表取締役社長 土屋 昌三  
(コード番号 1840 東証第 2 部・札証)  
問 合 せ 先 責任者役職名 経営企画部長  
氏 名 小田 徹  
電 話 番 号 011-717-5556

## 業績予想の修正および配当予想修正ならびに役員報酬の減額に関するお知らせ

この度、当社において、平成 21 年 10 月期（平成 20 年 11 月 1 日～平成 21 年 10 月 31 日）の業績予想について、平成 20 年 12 月 12 日付「平成 20 年 10 月期決算短信」にて公表いたしました業績予想および配当予想を修正するとともに、修正するに至った経営責任を明確にするため、役員報酬の減額を決議いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想修正

##### (1) 連結

平成 21 年 10 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 20 年 11 月 1 日～平成 21 年 10 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	25,067	281	232	169	6 円 66 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	24,156	148	116	11	45 銭
増 減 額 (B-A)	△911	△133	△116	△158	△6 円 21 銭
増 減 率 (%)	△3.6	△47.3	△50.0	△93.5	-
(ご参考) 前 期 実 績 (平 成 20 年 10 月 期)	28,737	△868	△910	△2,678	△111 円 06 銭

##### (2) 個別

平成 21 年 10 月期通期業績予想数値の修正（平成 20 年 11 月 1 日～平成 21 年 10 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	569	29	59	52	2 円 06 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	649	26	60	23	92 銭
増 減 額 (B-A)	80	△3	1	△29	△1 円 14 銭
増 減 率 (%)	14.1	△10.3	1.7	△55.8	-
(ご参考) 前 期 実 績 (平 成 20 年 10 月 期)	17,722	△762	△756	△3,551	△147 円 24 銭

※前期実績は、当社グループの組織再編ならびに当社の商号変更前のものであります。

### (3) 業績予想修正の理由

平成 20 年 11 月 1 日、当社グループは、ホールディングス体制として新たなスタートをいたしました。

当連結会計年度における当社（連結）の状況は、売上の伸長が難しい経済環境のなかで、当初売上・利益計画を達成すべく、組織および営業体制を刷新し、グループを挙げての原価低減と抜本的な経費の削減努力を行いました。

具体的には、売上高に関しては、「住宅事業」において、事業年度始めからの受注がほぼ計画どおり推移いたしましたが、最終的には、わずかながら当初受注計画を達成するまでには至りませんでした。

また、「増改築事業」においては、当初受注計画ラインに到達することができました。

その結果、当連結会計年度の売上高の計画達成率は、主力事業であります「住宅事業」が当初計画比 98%、「増改築事業」が同 99%、仲介事業等の「その他の事業」が同 105%となりました。

売上総利益に関しましては、計画した売上総利益率を 2 ポイント下回り、売上減も影響したことから、金額としては当初計画より 7 億 52 百万円の減益となりました。

経費面に関しましては、グループ全体の経費を抜本的に見直し、あらゆる面から削減努力を試みた結果、当初計画より 6 億 18 百万円、前連結会計年度比 20 億 15 百万円の圧縮をすることができました。

以上のことから、当連結会計年度の売上高は、当初計画より 9 億 11 百万円減の 241 億 56 百万円（前年比 15.9%減）、営業利益は同 1 億 33 百万円減少し 1 億 48 百万円、経常利益は同 1 億 16 百万円減少し 1 億 16 百万円、当期純利益は 11 百万円となる見込みとなり、6 期ぶりの連結最終黒字を計上する見込みとなりました。

## 2. 配当予想修正

### (1) 修正の内容

	1 株当たり配当金（円）		
	中間期末	期末	年間
前回予想(平成 20 年 12 月 12 日発表)		1 円 00 銭	1 円 00 銭
今回修正予想		0 円 00 銭	0 円 00 銭
当期実績	0 円 00 銭		
(ご参考) 前期実績	0 円 00 銭	0 円 00 銭	0 円 00 銭

### (3) 配当予想修正の理由

当社は、当連結会計年度におきましては、1 株当たり 1 円 00 銭の普通配当を実施する予定でありましたが、上記業績予想修正のとおり、6 期ぶりの連結最終黒字となる見込みとなったものの、配当原資を確保するまでには至らず、誠に遺憾ながら無配に修正いたします。

#### 4. 役員報酬の減額

現況を真摯に受け止め、経営責任を明確化させるために、以下のとおり役員報酬の減額を実施いたします。

##### (1) 役員報酬の減額の内容

代表取締役会長（1名）：月額役員報酬額の50%を減額

代表取締役社長（1名）：月額役員報酬額の20%を減額

専務取締役（1名）：月額役員報酬額の20%を減額

常務取締役（1名）：月額役員報酬額の20%を減額

常勤監査役（1名）：月額役員報酬額の20%を減額

##### (2) 対象期間

平成21年11月より平成22年1月まで（3ヶ月間）

#### 5. 今後の対策

今後における対策といたしまして、今連結会計年度のスタートに当たり、より一層の組織強化と合理化を進めました。

各事業会社（5社）の管理部門を当社1社に集約し、グループ全体の間接部門人員を大幅に削減し、人員を営業部門へ手厚く配置いたしました。

これにより、間接費のさらなる削減はもちろん、直間比率の向上による営業体制の強化に努めており、併せてグループ基幹システムを新たに導入し、一層の業務効率化と省力化を図っております。

今年度においては、主力事業会社の土屋ホームが、この度、北海道に本社を置く企業（単独）で唯一「長期優良住宅先導的モデル事業」に採択され、グループの営業体制に追い風が吹いております。

なお、「長期優良住宅先導的モデル事業」に関しては、近日中に別途プレスリリースを行います。

今後は利益体質を継続し、早期に復配できますようグループ一丸となって取り組んでまいります。

##### (業績予想について)

業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報による判断に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上